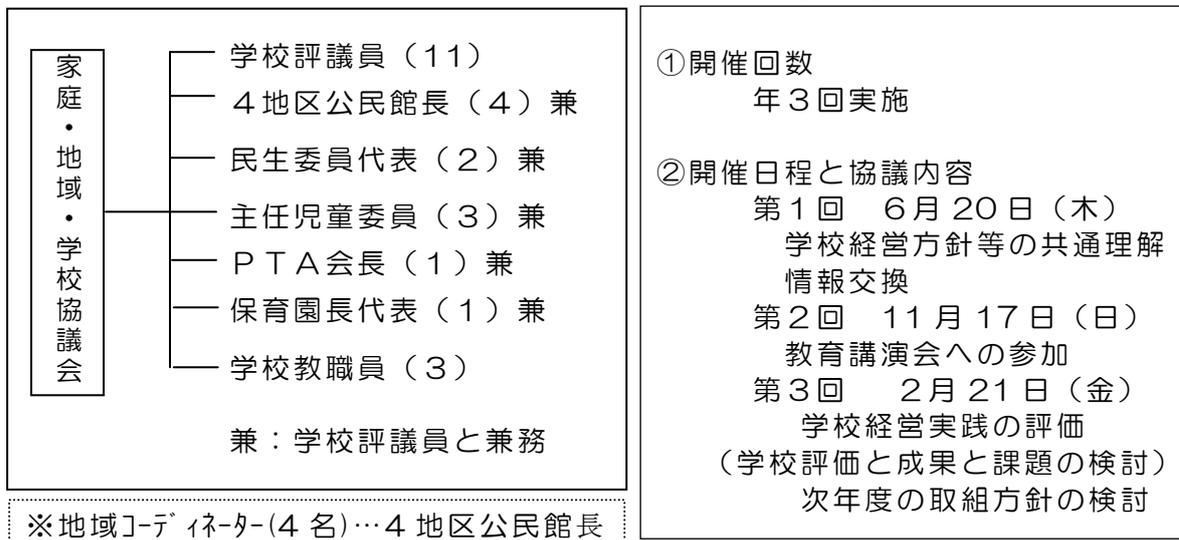


令和元年度 福井型コミュニティ・スクール 実施報告書

小浜市立小浜美郷小学校

1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成 (2) 協議会の内容



(3) 協議会における成果と課題

- ・4校が統合して出発した初年度として、各地区の公民館長をはじめ協議会の方々のお力添えをいただき、家庭・保育園・各種団体・有識者など多くの方々と連携した教育活動を作り出していくことができた。
- ・各地区主催の行事に、小浜美郷小学校の特定の学年としてではなく、地区の一員として児童が参加をすることができ、今後の地域と学校とのあり方の第一歩を踏み出すことができた。

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

- ・4つの地区が統合して開校した本校の特質を考え、まずは校区4地区の歴史や文化、産業などの特徴を地域の方との関わりの中から学び、新しく一緒になった「ふるさと美郷」の良さや素晴らしさを認識するとともに、多くの人にその良さを伝えていくことで、故郷を誇りに思う気持ちを高める。
- ・地域から小浜市へと視野を広げ、本市の直面する課題の解決策を考えることを通して、本市のより良い未来のあり方を考え、その実現に向けて参画しようとする心を育てる。

(2) 活動の実際

①コウノトリの飛来する地域を目指して～ふるさと祭りでの発信～(5年生)

4地域の多くに共通する基幹産業である「米づくり」に着目し、米づくりを通じた地域の産業のあり方や地域の人々の願いに学ぶ活動を展開した。まず、地域の生産組合の協力を得て、学校横の水田で自ら米づくりを体験する取り組みをおこなった。枠回し・田植え・生育の観察・いねかり・乾燥からの一連の工程を体験することで、「米づくり」に関わる人々の苦勞や願いについて深く考えることができた。

<水田での生き物調査>



また、この水田には「コウノトリ」が飛来することから、コウノトリが住みやすい環境をどのように守ろうとしているのかという点を課題として、長年この活動に取り組んでおられる団体の方や市役所の方を招き、取り組みの内容や願いなどについて学んだ。また、地域の水田で生き物調査をおこなった。

これらのことを生かし、4地区それぞれでおこなわれる「ふるさと祭り」にそれぞれの出身地区の児童が参加し、学習の成果と自然を守る取り組みの大切さをパンフレット配布や壁新聞などを使って発信する活動をおこなった。また、その機会を生かし、地域の方の意識調査を実施して、そのデータを元に、これからの農業のあり方について考える学習へと発展させていった。



<地域の方への聞き取り調査>

②中松明に込めたふるさとへの思い ～お水送りに願いを込めて～（6年生）

小浜市の最大の神事である「お水送り」に参加をし、その中で、ふるさとへの思いを松明に書き入れて運ぶ活動をおこなった。

6年生はこれまで1年間、4地区をまわり「ふるさと美郷」の歴史や文化を学び、ふるさとの良さや魅力について再認識する学習をおこなってきた。また、その学習を元に、小浜市全体が直面している課題について考え、自分たちができる事を実践してきた。これら1年間を通して学んできた「ふるさと美郷・小浜」への思い、また、ふるさとの未来に向けての思いを、松明に込める姿から、美郷・小浜への愛情と強い願いが感じられた。



<中松明に込めた思い>



<できあがった松明>

（3）地域コーディネーターの活動概要

- ・4つの地域の伝統や文化に詳しい方と学校をつなぐ役割を果たした。
- ・ふるさと祭りへの参加に向け、プログラムへの繰り入れや地域の団体との調整役を果たした。

（4）特に工夫した事項

- ・校区4地区それぞれの良さや特色を学ぶため、各地域の方に積極的に働きかけをおこなった。
- ・知って学ぶことから、さらに1歩踏み込み自分たちで行動を起こす子どもの気持ちを後押しすることができた。

（5）成果と課題

- ・地域や外部の方と関わりを多く持てたことにより、児童はふるさとへの誇りやふるさとを良くしていきたいという強い思いを持つことができた。